

ネクタイの結び方

- ・プレーン・ノット I.P.Q.に応じて使い分けられればグッド!
- ・セミウインザー・ノット (), (), ()
- ・ウインザー・ノット 結び方は別紙参照

見舞いの心得

初級編

- ・すぐに駆けつけない。容体を確かめてから伺おう。
誰に? ()
- ・面会時間 () 時頃がベスト。
- ・普通はどれくらいいても良い? 相手のことを気遣って () 分ぐらい。
長くても () 分。
- ・病人を () させたり、() がるような話はしない。
- ・病院では、() の電源は切っておく。() もダメ。



上級編

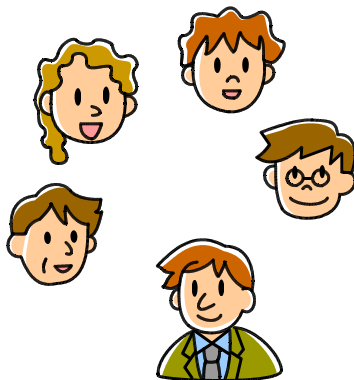
- ・初めて見舞いに行くときは、何らかの贈り物があることが望ましい。(特に社会人の場合)
金品を送る場合は、() 円~() 円が望ましい。
ただし、() と () のつく数字は避けよう。
- ・花を持っていくのはOK。
ただし、() 付きの花や、シクラメン [() と () を連想させるため]、
菊 [() に使われるため]、椿 [() と落ちる] などはNo Good (NG)。
- ・菓子類を持っていく場合は、同室の人たちにお裾分けできるものが望ましい。
- ・消化の悪いもの、大きなぬいぐるみなどもNG。

あいさつのいろは

1. あいさつの基本

1. 明るく元気よく。
2. テンポ良くはきはきと。
3. 相手の顔を見て、にこやかに。

- 朝11時くらいまでのあいさつ ()
- 昼間のあいさつ ()
- 夕方のあいさつ ()



2. あいさつの姿勢

- ・一般的なあいさつは体を () 度ぐらい、目上の人には () 度ぐらい傾ける。
- ・手の位置は足の () に。

3. さまざまなあいさつ

- ・外国では、() () () や、ニュージーランドのマオリ族の () と () をこすりあわせる行為などのあいさつがある。
- ・日本では、おじぎや仏教徒の () などがある。
- ・目礼や () のように、顔の表情でも挨拶を行うこともある。



4. 会話の中のあいさつ

- ・挨拶の言葉に多いのは、相手の () 状態や () 状態を訪ねたり、相手が何をしようとしているのかを聞くもの、その日の平安を祈るもの、() に関するものである。
例) 「お元気ですか」、「おかげさまで」、「どちらまで」、「ちょっと(そこまで)」、「いい天気ですね」、「もうかりまっか?」、「ぼちぼちでんな」など。

参考) 日本では、古来すれちがうときに挨拶をかわせないのは妖怪であるとされ、他の社会でも妖術師や魔女とみなされることがあった。

5. あいさつの言葉は状況をふまえて

場面	私的な立場で	ビジネスの場で
感謝をするとき	ありがとう	ありがとうございます
お詫びをするとき	すみません ごめんなさい	
依頼するとき	すみませんが...	
引き受けたとき	はい、わかりました	
訪問するとき	おじゃまします	
辞去するとき	失礼します	
入・退室するとき	失礼します	
先に帰るとき	お先に失礼します	
送り出すとき	お疲れさまでした	

問題 次のそれぞれの文章は何かおかしいぞ! おかしいと思う場所に を付けよう。

- 1) ただいまの時間、こちらのサービスはタダでご利用いただけます。
- 2) こちらの品は、もれなく抽選で50名の方に進呈しております。

